

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 5-49

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	国民健康保険事業特別会計繰出金			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保険給付係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	職名
				氏名
				係長
事業の概要	国民健康保険事業の運営の安定化を図るため、一般会計から必要な費用の繰出しを行っています。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業      ■非登載事業		
	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	
	基本政策	11	社会保障制度の充実	
	単 位 施 策	1	国民健康保険・後期高齢者医療運営の安定化	
	事務事業の種類	■自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
	その他計画・根拠等	国民健康保険法		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総 事 業 費	73,249千円	69,313千円	61,393千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	59,442千円	54,577千円	44,412千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	国民健康保険被保険者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題や二一ズは】	国民健康保険財政の健全化		国民健康保険の健全な運営	
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	医療給付や国民健康保険税の適正化		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	国民健康保険の健全な運営		①	目標年度 目標値 実績値 達成度 %
		②	目標年度 目標値 実績値 達成度 %	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)				
国民健康保険被保険者の疾病、負傷、出産又は死亡に関して必要な保険給付を行いました。 保険給付費                    500,865千円 老人保健制度への拠出金    121,580千円 介護保険制度への拠出金    37,586千円 保健事業費                    6,813千円				

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部	
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>概ね有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	医療費や税負担の適正化を進める中で、町からの繰入額(一般財源負担)が減少しており、概ね有効に効果が現れてきていると判断します。
有効／概ね有効／課題あり		

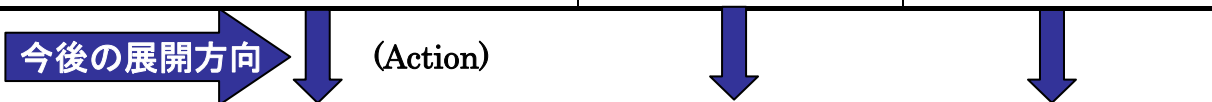
(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>概ね効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	これまでに事務のシステム化や専門性の高い業務を民間委託化するなど実施してきており、コスト削減の余地はないと考えます。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
国民皆保険の基、住民の約半数が加入する国民健康保険の運営の安定化を図るために必要な費用を一般会計から繰出すのは必要不可欠であると考えます。		



<b>継続/現状維持</b>		
引き続き、税負担の見直しや滞納者対策の強化、保険給付の適正化、保健事業の推進など国民健康保険財政の健全化を進め、保険基盤の安定化に努めていきます。 また、平成20年度から特定健康診査・特定保健指導実施計画に基づき、計画的に医療費の適正化を目指します。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

現在、西紋地区4町村での事務の広域化の検討を進めていることから、広域事務の内容により今後の展開方向の区分に変更が生じる可能性があります。
--

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 5-50

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	北海道後期高齢者医療広域連合市町村負担金			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保険給付係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	職名
				氏名
				係長
事業の概要	後期高齢者医療制度の保険者として、北海道内の全市町村が加盟する広域連合に対する負担金や制度開始に伴う諸準備を行っています。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業 <input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業		
	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	
	基本政策	11	社会保障制度の充実	
	単 位 施 策	1	国民健康保険・後期高齢者医療運営の安定化	
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
	その他計画・根拠等	高齢者の医療の確保に関する法律		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	16千円	2,283千円	— 千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	16千円	1,649千円	— 千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	後期高齢者医療制度移行対象者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題や二一ズは】	制度移行の円滑な実施		後期高齢者医療制度を円滑に実施する。		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	老人保健制度から後期高齢者医療制度へ円滑な移行を目指す。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	後期高齢者医療制度の円滑な実施		①	目標年度	年度
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
北海道後期高齢者医療広域連合への負担金 2,130千円					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>概ね有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	制度移行については、概ね順調に開始されたと考えます。
有効／概ね有効／課題あり		

(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	医療保険者を全市町村が加入する広域連合で行うための負担でありコスト削減の余地はないと考えます。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当     
  B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要     
  D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
平成20年度から制度開始に伴い、新たに特別会計を設置して、継続して実施することになります。		



<b>継続／現状維持</b>		
後期高齢者医療制度の開始から間もなく、制度が安定するまで、諸々の改正も予想される中、今後の国の動向に注視する必要があります。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     
  終了     
  休止     
  廃止

### 5 その他特記事項

事業は継続して実施しますが、平成20年度から特別会計を新たに設置して実施することとなることから、本事務事業名としては、平成19年度で終了となります。
--

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 5-51

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	総合行政システム導入事業			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保険給付係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	氏名
				職名
				係長
				氏名
				中村文隆
事業の概要	後期高齢者医療制度の創設に伴い、住民データ等を管理する行政システムの導入（更新）を行いました。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業
	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	
	基本政策	21	情報通信網の整備・充実	
	単 位 施 策	2	行政情報化の推進	
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	その他計画・根拠等			
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総 事 業 費	千円	11,456千円	千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	千円	5,198千円	千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	全住民	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	後期高齢者医療制度が創設に伴い、現行システムでは対応ができなくなりました。		総合行政システムの安定的な運用	
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	新型システムへの導入(更新) (オフコン⇒パソコン)		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】	行政システムの安定的運用と行政サービスの向上		① 行政システムの導入(更新) 一式	目標年度 20年度 目標値 実績値 達成度 100%
※成果=目的		②	目標年度 年度 目標値 実績値 達成度 %	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)				
総合行政システム導入 システム導入費用総額 54,023千円 システム保守管理費用総額 22,617千円 ※5年間の長期継続契約による。				

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	各種行政事務に活用する住民データを記録した電算システムのサポート期間が終了し、後期高齢者医療制度の創設を始めとした種々の制度改正などに対応するのが困難となったことから、導入するものであり必要な事業と考えます。
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	住民記録の根幹となるシステム更新を行ったことにより、後期高齢者医療制度への対応が可能となりました。また、オフコンからパソコン化になったことにより将来的な拡張や種々制度改正にも容易に対応できることになり、行政コストの効率化も期待できます。
有効／概ね有効／課題あり		

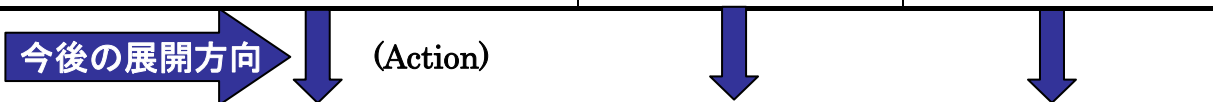
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	現行システムの後継機を導入することにより、データ移行の安全性、コストの低減を考慮のうえ、実施したものであり、これ以上のコスト削減の余地はないと考えます。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
本事業は、単年度事業であることから平成19年度で終了となります。		



<b>終了</b>		
住民データを活用する行政事務は多岐にわたっており、今後、別システムで稼働しているシステムの統合やシステム化されていない事務の新規導入などを行うことにより、更に行政コストの低減、効率化が期待できると考えます。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項

平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 5-52

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	老人保健医療事業特別会計繰出金			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保険給付係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	職名
				氏名
				係長
事業の概要	老人保健法に基づく医療給付に係る町負担分及び事業運営に必要な事務費の繰出を行っています。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業
	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	
	基本政策	11	社会保障制度の充実	
	単 位 施 策	1	国民健康保険・後期高齢者医療運営の安定化	
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務
	その他計画・根拠等	老人保健法		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	49,376千円	51,154千円	4,973千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	49,376千円	51,154千円	4,973千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	老人保健医療受給者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題や二一ズは】	医療費の増加		老人保健医療事業の健全な運営	
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	医療給付の適正化		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	老人保健医療事業を健全に運営する。		①	目標年度 年度 目標値 実績値 達成度 %
		②	目標年度 年度 目標値 実績値 達成度 %	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)				
健康保険適用医療費自己負担額のうち老人保健法に規定する一部負担金を控除した額を助成  平成19年度 医療諸費 620,936千円				

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必 要</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>概ね有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	平成19年10月から新たに受給者が増加しましたが、医療諸費については、前年度より下回っており、概ね順調に実施していると考えます。
有効／概ね有効／課題あり		

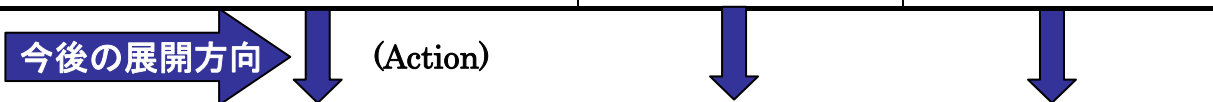
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>概ね効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	医療給付に対する操出しについては、法に基づくものであり、削減の余地はありません。 事務費については、制度改革に基づくシステム改修が主なものであり、コスト削減の余地はないと考えます。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当       B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要       D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b> 法に基づき継続して事業を進めることが適当と考えます。		



<b>継続／縮小</b> 平成20年度から後期高齢者医療制度へ移行することとなり、事業費は縮小されます。		
---	--	--

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合       終了       休止       廃止

### 5 その他特記事項



平成20年度事務事業評価調書（対象：19年度）

整理番号 5-53

1 事務事業の表示

※ ■：該当

事務事業名	介護保険事業特別会計繰出金			
評価者	担当課・係名	保健福祉課・保険給付係		
	課長等	職名	課長	作成者
		氏名	葛西 隆	職名
				氏名
				係長
事業の概要	介護保険法に基づき、介護保険給付等に係る町負担分及び事業運営に必要な事務費等の操出を行っています。			
事業の位置付け	第5期総合計画	<input type="checkbox"/> 登載事業 <input checked="" type="checkbox"/> 非登載事業		
	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	
	基本政策	11	社会保障制度の充実	
	単位施策	3	介護保険運営の安定化	
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		
	その他計画・根拠等	介護保険法		
事業コスト (実績)	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度(予定)
	総事業費	48,451千円	40,693千円	49,202千円
	総事業費の内雄武町が負担した金額(一般財源)	48,451千円	40,693千円	49,202千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	介護保険被保険者	指標／目標	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題や二一ズは】	介護予防と重度化防止		介護保険の健全な運営		
【どのような状態になることを目指すのか(意図)】	介護保険給付増加の抑制		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	介護保険を健全に運営する		①	目標年度	年度
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
		②	目標年度	年度	
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
要介護者が自立した生活が営めるように必要な介護費用の保険給付を行いました。また、将来介護が必要とならないための予防事業として地域支援事業や保健福祉事業を実施しました。 保険給付費                    297,749千円 地域支援事業費              2,886千円 保健福祉事業費              510千円					

### 3 事務事業の評価 (Check)

(1) 事務事業の必要性 (町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必 要</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	
必要／概ね必要／課題あり		

(2) 事務事業の有効性 (期待する効果が得られたか)

<b>概ね有効</b>	設定した目標値の達成状況 <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	第3期介護保険事業計画に基づき概ね順調に実施されていると考えます。
有効／概ね有効／課題あり		

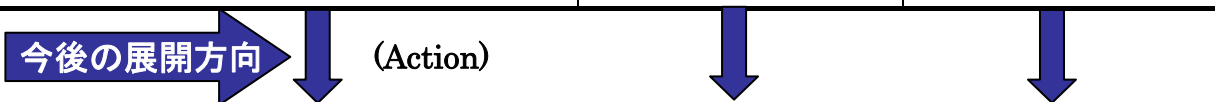
(3) 事務事業の効率性 (コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由 <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員抑制 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	介護給付費、地域支援事業に対する繰り入れについては、介護保険法に基づくものであり、削減の余地はありません。事務費についてはシステム運用経費や要介護認定に要する経費が主なものであり、コスト削減の余地はないと考えます。
効率的／概ね効率的／課題あり		

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画どおり事業を進めることが適当     
  B: 事業の進め方等に改善が必要  
 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要     
  D: 事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価 (一次評価)	評価会議評価 (二次評価)	町長評価 (三次評価)
<b>A</b>		
介護保険法に基づき、町が保険者として実施すべき事業であり、今後も町の介護保険事業計画などに基づき、計画的に事業を進めることが必要であると考えます。		



<b>継続/拡充</b>		
高齢者人口の増加に伴い要介護認定者が増加傾向にあり、また、平成20年度に特別養護老人ホームの増床が行われるため、給付費の増加が予測されます。 平成20年度に介護保険事業計画の見直しを行い、計画的な事業運営に努めます。		

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合     
 終了     
 休止     
 廃止

### 5 その他特記事項

現在、西紋地区4町村での事務の広域化の検討を進めていることから、広域事務の内容により今後の展開方向の区分に変更が生じる可能性があります。